

最高の1日に

校長 矢島 加都美

1 一期一会

「いちごいちえ」と読みます。11月に行った「茶道教室」で、教えていただいた言葉です。茶道に由来する言葉で「この出会いは、二度と巡って来ないたった一度きりのものだから、この一瞬を大切に今できる最高のおもてなしをしよう」という意味です。この言葉は、茶道を愛した幕末の大老である井伊直弼が広めました。時間は確実に流れ、同じ出来事は二度と巡ってきません。君たちにとって、このクラスで行く1回きりの地域巡りです。だからこそ、最高の1日にしたいと強く思います。

2 真光寺、鶴川そして町田を知ろう

自分たちが暮らしている、真光寺、鶴川の歴史や自慢できることなど、これまで知らなかったことを発見してきてください。そのためにも、事前に見所をしっかりとチェックし、ポイントをつかんで見学し、自分たちが住む「真光寺、鶴川そして町田」の良さや素晴らしさを肌で感じてください。

3 感動を分かち合う仲間

同じ地域に住む仲間と一緒に旅行に、感動的な体験をたくさんしてほしいと思います。本気の挑戦がなければ感動はありません。班別行動は、班員が本気で協力しなければ成功はありません。みんなが仲間のために少し辛抱し、目標達成に協力すれば、大きな感動が君達を待っています。「やったぞ」と喜び合える挑戦を、仲間との協力によって成し遂げましょう。

4 学校生活の真価が問われる

集団で行動するとその集団のムードが明確になります。旅行先で出会った集団が、だらしない集団なのか、さわやかな集団なのかは、君たちでも分かるはずです。集団行動は、日常の学校生活の真価が発揮される場なのです。「時を守り、場を清め、礼を正す」を実践してください。当然ですが、「真光寺中学校の生徒は礼儀正しいさわやかな集団ですね」と呼ばれたいですね。

5 健康、安全、笑顔で

全員が健康で、ケガなく安全に、笑顔で地域巡りを無事に終わることが一番の目標だと思います。そのためには、全員が仲間を思いやり、ねばり強く協力し合うことが大切です。最高の準備をして最高の1日にしましょう。